

CPD記録簿

登録番号・氏名 (00567 全地連太郎)

登録番号と氏名を記入

作成例

※印の項目は、必須入力欄です。

CPD記録簿に整理したCPD単位の総計 (130単位)

下表に入力するCPD記録は、「⑬CPD取得形態」で指定する分類ごとに、日付の古いものから順に整理して下さい(作成例を参照)。

①番号※	②主催者名※	③プログラム名※	④プログラム番号	⑤教育分野	⑥教育形態	⑦開始年月日※	⑧終了年月日※	⑨参加単位※	⑩単位数※	⑪CPD単位数※	⑫主催者証明※	⑬認定機関名※	⑭プログラム目標	⑮プログラム内容※	⑯CPD取得形態※
1	東関東地質調査業協会	巡見 関東ローム層と武蔵野台地		C 専門技術分野 (調査手法)10 その他の専門技術分野 その他上記以外で地質技術者として役に立つ専門技術分野 (調査手法)	i 講習会・研修会等への参加 1 講習会、研修会等への参加	2015/12/11	2015/12/12	1.5 日	12	12	○	東関東地質調査業協会		「⑬CPD取得形態」は、「CPD記録簿テンプレート」に用意したプルダウンのメニュー①～⑤のいずれかを選択の上、CPD記録は分類ごと・終了年月日の古い順にならべて整理すること。	①講習会等の参加
2	社団法人 日本技術力向上会	技術力向上講習会	A0001			2016/3/19	2016/3/19	3 時間	3	3	○	社団法人 日本技術力向上会		(土壌分野)土壌汚染調査の現地サンプリング技術に関する講義を受講した。	①講習会等の参加
3	〇〇地質調査業協会	技術発表会		C. 専門技術分野 (調査手法) 5. ボーリング	ii. 論文等の発表 1. 口頭発表 (協議会が認める学協会等での発表)	2016/5/1	2016/5/1	10 分	0.8	0.8	○	〇〇地質調査業協会		ボーリング技術に関する論文を作成し、協会の査読を受けた後に発表した。	①講習会等の参加
4	□□地質調査業協会	地質技術者入職時教育				2017/6/1	2017/6/1	3 時間	9	9	-	□□地質調査業協会		若手技術者向けの技術講習会に講師として参加した。	①講習会等の参加
5	国土交通省 〇〇整備局	局長表彰		A. 基礎共通分野 11. その他の基礎共通分野	v. 業務経験 1. 学協会や発注者の表彰を受けた業務等	2018/8/1	2018/8/1	1 件	20	20	-	国土交通省 〇〇整備局		現場管理責任者として従事した業務が局長表彰を受けた。	①講習会等の参加
6	日本技術士会	技術士資格の取得			vi 4 技術資格の取得	2019/12/4	2019/12/4	1 取得	20	20	-	日本技術士会		技術士資格(総合技術監理部門 応用理学-地質科目)を取得した。(登録番号 第666****号)	①講習会等の参加
7	〇〇調査(株) 技術本部	平成21年度 社内技術発表会			iii 企業内研修及びOJT1 企業内研修およびOJT	2016/6/2	2016/6/2	5 時間	5	5	-	勤務先		社内でサンプリング技術に関する技術発表会を開催し受講した。	②社内研修等の参加
8	〇〇調査(株) 技術本部	平成21年度 社内技術発表会		C. 専門技術分野 (調査手法) 8. 現場計測・現場試験	iv. 技術指導 2. 社内研修会等の講師	2017/11/2	2017/11/2	1 時間	1	1	-	勤務先		社内で計測技術に関する技術発表会を開催し、講師を担当した。	②社内研修等の参加
9	〇〇調査(株)	(社内 技術者表彰 社長賞)				2019/12/1	2019/12/1	1 件	10	10	-	勤務先		社内で実施する優秀技術者表彰制度で、現場管理責任者として従事した業務内容が評価され、社長賞の表彰を受けた。	②社内研修等の参加
10	自己学習	学会誌「地球工学会誌」の購読			vi 3 自己学習	2018/1/1	2018/12/31	18 時間	9	9	-	本人		地球工学会発行の「地球工学会誌」を購読した。(2012年1月号～2012年12月号) 購読1回につき30分、年12回発行×3年分=18時間	③自己学習
当ページ合計										89.8	※ポイント: 機関誌の定期購読は、上記のように一まとめで記入してもよい。購読した書籍の詳細(機関誌の名称や発行頻度、購読時間など)を記入すること。				

①の分類を日付の古い順に整理

②の分類を日付の古い順に整理

③④⑤も同様に整理

登録番号と氏名を記入

作成例

※印の項目は、必須入力欄です。

①番号※	②主催者名※	③プログラム名※	④プログラム番号	⑤教育分野	⑥教育形態	⑦開始年月日※	⑧終了年月日※	⑨参加単位※	⑩単位数※	⑪CPD単位数※	⑫主催者証明※	⑬認定機関名※	⑭プログラム目標	⑮プログラム内容※	⑯CPD取得形態※
11	埼玉県〇〇事務所	地方特別道路整備工事(地質調査業務委託)		A基礎共通分野11その他の基礎共通分野その他上記以外で地質技術者として役に立つ基礎共通分野	v業務経験4現場管理経験(主任技術者、現場管理人、掘削機長、物理探査班長等)	2018/2/1	2018/3/31	1件		5		勤務先		県発注の地質調査業務に現場管理者として従事した。	④現場経験
12	元請)株式会社岩清水建設 国土交通省 関東地方整備局	荒川河川堤防試験工事		C. 専門技術分野(調査手法) 8. 現場計測・現場試験	v. 業務経験 5. 現場経験(一般調査員)	2019/5/1	2019/5/30	1件		2		勤務先		元請企業より受注した地質調査業務の現場担当者に従事した。	④現場経験
13	一般社団法人全国地質調査業協会連合会 情報化委員会	GIS構築検討ほか		X一般共通課題4技術動向 新技術、情報技術、品質保証、規格・仕様・基準(ISO、IEC)等	VIその他2公的な機関での委員就任	2020/9/20	2020/9/20	3時間		3		一般社団法人全国地質調査業協会連合会		協会の委員会活動に参加し、電子化された地質情報の活用について検討を行った。	⑤委員会活動など
14	*****	*****				***	***	***		*		*****		*****	*****
15	*****	*****				***	***	***		*		*****		*****	*****
	当ページ合計									**					

終了年月日でカウント。この場合、2018年度分(2017.12.1~2018.11.30)としてカウントされる。